

HPP活動報告(ハートフル・パーク・プロジェクト)第2弾

皇子が丘公園～ハツミヨザクラの次代を育てよう～

皇子が丘公園の交通公園の一角には、約180本のハツミヨザクラがあり、大津で一番早くお花見ができる穴場です。ハツミヨザクラ(初御代桜)は、ヒガン桜の一種で、ソメイヨシノより半月ほど早く開花し、少し濃いピンクの花を咲かせます。

しかし、ここ数年、寿命のせい、樹勢の衰えが見られます。この美しい桜を次の世代に引き継ぐため、HPPでは、ひこばえ(樹木の根際から出る分身のようなもの)を挿し木し、新しい株を育てることに挑戦します。うまく育てば、翌々年には花を咲かせます。



皇子が丘公園(交通公園)のハツミヨザクラのひこばえを約85本剪定し、適当な長さに切り、鹿沼土と培養土を混ぜた土に挿し木をしました。うまく活着することを願って、丁寧に作業しました。挿し木は、柳が崎湖畔公園のヤードで育てます。

○ボランティアグループ:

園芸福祉おおつ、湖西クラブ、かすみ草

○実施日:平成22年2月24日(水)10時~12時

